

## はじめに

### 総合科目とは

「総合科目って何を勉強するんだろう?」。きっと留学生の皆さんは疑問に思うでしょう。これは、留学生の皆さんが日本の大学で学ぶための基本的な知識や、世界と日本とのさまざまな問題について考える力を身につけるためのものです。そのために、地理・歴史・経済・政治・国際社会・現代の社会といった広い分野の学習が必要になります。

### どのように学習したらよいか

実際に、このようにたくさんの方の事を学習するのは大変です。どこから何を学習したらよいかもわからないでしょう。そのために、この本があります。この本は、総合科目の学習内容(シラバス)と、日本留学試験が始まった2002年から2018年現在までに出版された過去問を研究し、つくられました。試験によく出題される内容が中心になっているので、効率的に学習ができ、試験でも十分に高得点がとれるようになっています。ただ、用語を覚えるだけでは、なかなか得点できません。用語の意味はもちろん、内容をしっかりと理解することが必要です。そのためには日本語の方も高めておくことが大切です。

- 興味のあるところから始めよう 最初のページから順序よく学習する必要はありません。まずは、留学生の皆さんが興味を持てるところから始めるのもよいでしょう。その方が、スムーズに学習できます。
- くり返し読もう 文章は一回読んだだけでは、理解できません。日本語の練習だと思っ、理解できるまで何度もくり返し読みましょう。
- グラフ・表・地図にも注目 グラフや表、地図にも注目しましょう。実際の試験問題でも、グラフや表、地図がたくさん使われています。本文を読みながら、グラフや表の意味を考えることが大切です。国や都市の位置も地図で確認するようにしましょう。
- 問題を解こう 章ごとに練習問題があります。説明を読んだら、必ず問題を解いてみましょう。いくら覚えたとつもりでも、試験の問題が解けないのでは、意味がありません。そして間違えたら、もう一度説明を読んで、どうして間違えたのか考えてみましょう。学習→問題→学習→問題をくり返すことで、確実に実力がついてくるはずですよ。
- 最後に模擬試験にチャレンジ 最後に一通り学習が終わったら、本書の試験のつもりで模擬試験に挑戦してみましょう。ここでも間違えたらそのままにせず、しっかりと確認するようにしましょう。

### 改訂第二版について

日本の高校で教える授業の目標や大まかな教育内容が新しいものになったため、日本留学試験の「総合科目」で学習する内容(シラバス)も一部改訂され、2016年度の出題から改訂後のシラバスが適用されています。

### 日本留学試験 総合科目 シラバス改訂一覧

		新しく追加された項目	項目を細かくしたものと、 項目名を変えたもの
現代史・ 経済・ 社会	現代の社会	社会保険、地域社会の実践、食料問題、エネルギー問題、環境問題、持続可能な社会	なし
	現代の経済	消費者、労働問題	市場経済、価格メカニズム、政府の役割と経済政策、貿易、為替相場、国際収支
	現代の政治	議会制民主主義、地方自治、新しい人権	日本国憲法、基本的人権と法の支配、国会、内閣、裁判所
	現代の国際社会	国際関係と国際法、日本の国際貢献	人権・エスニシティ・民族問題
地理	現代世界の特色と諸課題の地理的考察	世界の生活・文化・宗教、自然環境と災害・防災	都市・村落、日本の国土と環境
	歴史	五代の成立と世界の一体化	なし
	20世紀の世界と日本	日本の戦後史	なし

これに合わせて、「日本留学試験対策問題集 ハイレベル 総合科目」も2017年4月に改訂。この度の第二版では統計のデータや内容を更新し、別冊の模範試験も1回から2回に増やしました。

“苦あれば楽あり”という言葉があります。苦しいことの後には、楽しいことが待っているという意味です。苦しい試験勉強を乗り越えた後には、志望大学への合格が待っていると信じて、最後まであきらめずにがんばってください。留学生の皆さんの夢が実現できるよう願っています。

2019年9月  
伊佐治康成

## この本をお使いになる皆さんへ

### ①本の構成

この本は、I地理、II歴史、III現代の経済、IV現代の政治、V現代の国際社会、VI現代の社会の6つの分野からなっており、全部で44章あります。

別冊には、章別の練習問題（過去問題）と、模擬試験2回分があります。

### ②赤字の用語は重要

大切な用語は赤字になっています。付属の「赤シート」をかぶればその部分は見えないので、復習に使ってください。前後の文章からどのような用語が入るのか考えてみましょう。

### ③参照もチェック

同じ用語がさまざまな分野に出ることがあります。さまざまな箇所に出てくるということは、それだけ重要な用語だということです。関連付けながら学習することで内容をしっかりと理解することができます。本文中に（○p.200）のように参照ページが示してあります。本の最後にある索引も利用してみましょう。

### ④囲みも重要

囲みで説明しているところは、本文中の説明には入れられなかった重要なことを取り上げています。

### ⑤重要用語リスト

「重要用語リスト」は、下記サイトからダウンロードしてお使いいただけます。英語・中国語・韓国語・ベトナム語の説が付いています。

<https://www.ask-books.com/eju/>

### ⑥何度も学習

説明は、理解できるまで何度もくり返し読みましょう。目次（p6～p10）の章ごとに「チェックBox」があります。学習が終わったら、☑のようにチェックを入れましょう。

## 1 民主主義の基本原則

### ①国家

#### 政治と国家

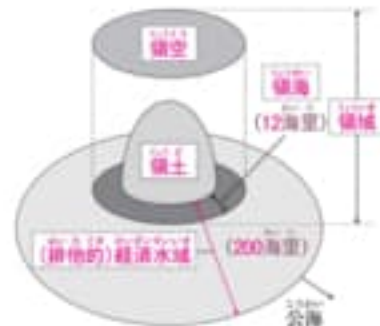
●政治の役割 政治の役割とは、①国民の安全を守り、**平和**の実現をはかること、②教育・文化の向上や産業の育成、社会福祉といった**公益**の利益を充実させることである。こうした役割を果たす政治の場が、**国家**や**地方公共団体**（**地方自治体**）（○p.200）である。

●政治権力 政治には、政策を実行するために人々を促わせる**政治権力**が必要である。そのために国の基本法である憲法やさまざまな法律がある。警察や軍隊、裁判などで促わせるのは最後の手段でなければならない。

#### 国家の三要素

国家は、**主権**（国家の政治のあり方を決め、それを実行することができる力）、**領域**（主権の及ぶ範囲）、**国民**の3つの要素からなる。主権が国民にあることを**国民主権**という。また、領域は**領土**・**領海**・**領空**からなる。

領土	領域の中の陸地部分
領海	領土から12海里 (1海里=1852m)
領空	領土・領海の上空



#### 〔排他的〕経済水域（EEZ）

沿岸国が漁業資源や資源開発などについての権利をもつ海域のこと。国家海洋法原則によって、海岸線から200海里（約370km）までとされている（ただし、領海は狭く）。

## ② 社会主義経済

### ① 社会主義経済の成立

産業革命後、資本主義が発展する中で貧富の差や資本家と労働者の対立などが大きな問題になった。

19世紀中頃にドイツのマルクスは『資本論』の中で資本主義を批判して、資本主義社会は必ず社会主義社会へ、さらには共産主義社会へ移ると主張した。このマルクスの考えを発展させたのがレーニンである(『帝國主義論』)。レーニンは、1917年にロシア十月革命を指導して、世界初の社会主義国家が誕生した(○p.101)。

### ② 社会主義経済の特徴

社会主義経済とは、資本家・労働者の対立をなくした平等な社会の実現をめざす経済体制のことである。

#### 社会主義経済の特徴

- ① 生産手段の公有…生産手段を国家または集団が所有する。
- ② 計画経済…国家が経済活動を管理して自由競争を認めない。  
◆ソ連の第1次五ヶ年計画(1928～32年)、第2次五ヶ年計画(1933～37年)
- ③ 私的利潤の禁止…利潤は国や組合のものとなり、労働者に平等に分けられる。

### ③ 社会主義経済の陥穽と対策

社会主義経済では、計画の不完全さや失敗から物不足や物価上昇(インフレ)がおこった。また利潤を平等に分配することから労働意欲が低下し、生産性の低下・経済効率の悪化につながった。そのため、旧ソ連・中国などでは部分的に市場原理・分権的計画経済を導入するようになった。

旧ソ連	ゴルバチョフのペレストロイカ(改革)(1985～91年)…市場経済の導入(○p.115)
中国	改革開放政策(1978年～)…生産責任制、経済特区の設置◆外国企業の誘致
ベトナム	ドイモイ(刷新)政策(1986年)…市場経済の導入、外国資本の導入

## ③ 主な経済学説

### ① 重商主義と重農主義(16～18世紀)

絶対王政下でのヨーロッパでは、貿易から得られる利益によってのみ国家・社会の富が得られるとする重商主義思想が支配的であった。そのため、輸出を増やすための国内産業保護政策がとられた。重商主義の代表的な経済学者がトマス・マン(1571～1641年)である。

これに対して、ケネー(1694～1774年)は農業生産によってのみ国家・社会の富が得られるという重農主義を主張した。

### ② 古典派経済学と歴史学派(18世紀後半～19世紀)…産業資本主義

産業革命後、資本主義が発展すると保護政策をとる重商主義を批判し、自由主義経済のもとで自由放任主義や自由貿易などを主張する古典派経済学が発展した。

アダム・スミス(1723～90年)は『国富論(諸国民の富)』の中で、自由な経済活動に任せておけば「神の見えざる手」によって、市場は自然にバランスが保たれると主張した(自由放任主義(レッセフェール))。また、国は国民の経済活動に干渉しないで、国防・司法・公共事業など必要最小限の活動に限るべきだと主張した(小さな政府・安価な政府)。

マルサス(1766～1834年)は『人口論』のなかで、食糧は算術級数的(1→2→3…)に増えるが、人口は幾何級数的(1→2→4→8→16…)に増加することから人口を抑えることを主張した。リカード(1772～1823年)は『経済学及び課税の原理』の中で、比較生産費差による自由貿易を主張した(○p.100)。

こうした古典派経済学に対して、歴史学派の中心人物であるドイツのリスト(1789～1846年)は、発達が遅れている産業には保護貿易が必要であると主張した。

### ③ 近代経済学派(20世紀)

1929年の世界恐慌(○p.105)によって資本主義社会では深刻な不況や失業がおこった。

そのためケインズ(1883～1946年)は『雇用・利子および貨幣の一般理論』のなかで、景気回復や失業者を減らすためには、政府が公共投資などを行って市場に介入し、需要を増やすべきだと主張した(有効需要の創出、大きな政府)。

しかし、有効需要創出のために国が国債を発行するなど通貨量を増やして公共投資・公共事業を行うため、財政赤字になる危険性がある。そのため、フリードマン(1912～2006年)は『選択の自由』の中で、自由放任主義の復活(小さな政府)を主張し、経済成長に見合った通貨供給を行うことで、経済の安定がはかれると主張した(マネタリズム)。

# 1 地球儀と地図

## ① 地球のすがた

### 地球の大きさと表面

地球の半径は約6400kmで、赤道の周囲は約4万kmである。  
地球の表面積は約5億km<sup>2</sup>(平方キロメートル)で、陸地が30%、海洋が70%を占めている。陸地の3分の2が北半球に分布している。

### 地球上の位置—緯度と経度

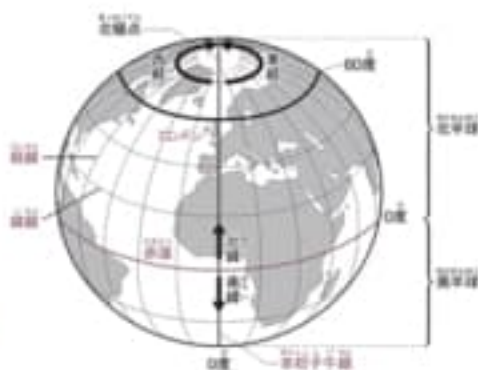
赤道と平行な横の線を**緯線**、北極と南極を結ぶ縦の線を**経線**という。

緯線は赤道を0度として南北をそれぞれ90度に分けている。これを**緯度**といい、北を北緯、南を南緯とよぶ。

経線はイギリス・ロンドンのグリニッジ天文台を通る線(本初子午線)を0度として東西をそれぞれ180度に分けている。これを**経度**といい、東を東経、西を西経とよぶ。

緯度と経度の組み合わせで、地球上の位置を表すことができる。

📍 日本の位置：北緯約35～46度、東経約122～154度



\*緯度90度で全周は約2万kmになる。

## ② 標準時と時差

地球は1日24時間かけて西から東へ自転しているので、経度15度で1時間の時差が生まれる(360度÷24時間=15度/1時間)。また、東の方が西よりも時間が早く進む。

世界の国々では、0度の本初子午線を基準に15度ごとの経線に合わせた**標準時**が設定されている。ロシアでは9、アメリカでは4(アラスカ・ハワイを加えて6)、オーストラリアでは3つの標準時がある。

つまり、時差とは世界各地の標準時の差のことである。

### 時差の求め方

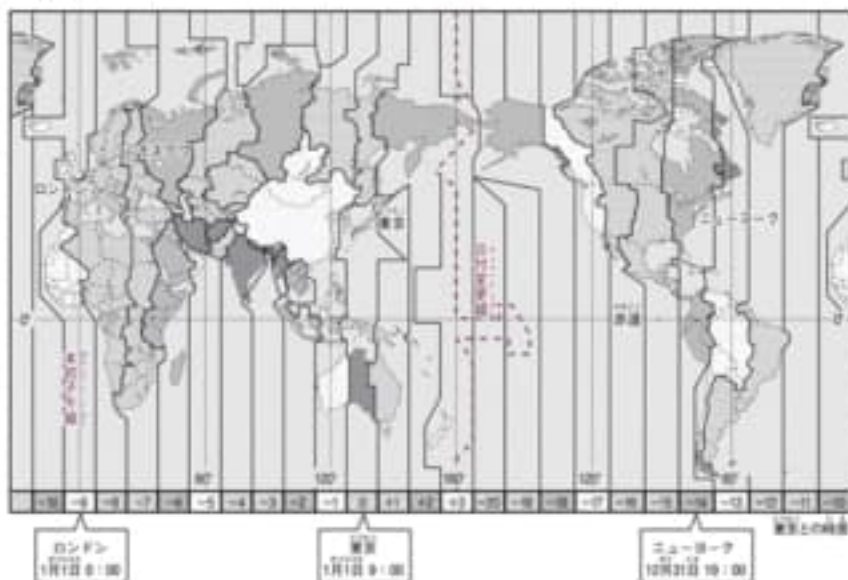
① 東経同士、西経同士にある2地点(A・B)の時差=(Aの経度-Bの経度)÷15

📍 東京(東経135度)とロンドン(0度)⇒135÷15=9時間

② 東経と西経にある2地点(A・B)の時差=(Aの経度+Bの経度)÷15

📍 東京(東経135度)とニューヨーク(西経75度)⇒210÷15=14時間

また、ほぼ180度の経線にそって**日付変更線**が引かれているため、日付変更線を東から西へ越えるときは日付を1日**進め**、西から東へ越えるときは日付を1日**遅らせる**ことになる。



### サマータイム

イギリスやアメリカなど高緯度の国々では、昼の時間が長い夏の間だけ標準時を1時間進める**サマータイム**を採用している。

## ③ 距離と方位

### さまざまな地図の特徴と使われ方

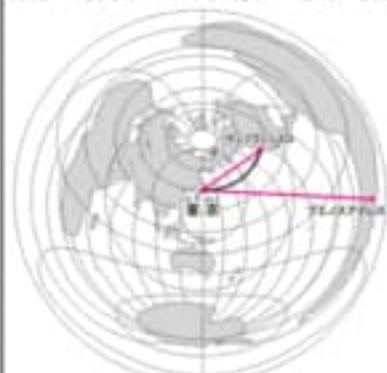
地図は地球の表面を写し取って作成する。これを地図投影法(図法)という。しかし、球面を平面にするため、距離・方位(方向)・面積・角度のすべてを正しく表すことは

できない。そのため、目的に合わせてさまざまな地図が作成されている。

面積を正しく表現する地図…分布図・統計図に利用



距離・方向を正しく表現する地図…航空図に利用

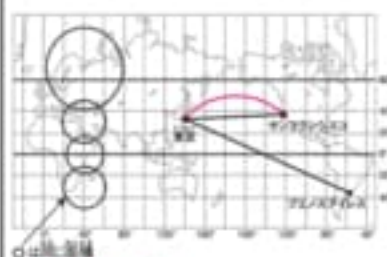


**正距方位図法**

- 図の中心からの方位と距離が正しい。
- サンフランシスコ：東京の北東に位置する。  
ブエノスアイレス：東京の真東に位置する。
- 図の中心から結んだ2地点の直線は最短距離(大圏コース)となる。曲線は等角コースとなる。
- 図の中心以外の2地点の距離・方位は正しくない。

▲東京中心の正距方位図法

地球上の角度の関係を正しく表現する地図…海図に利用



**メルカトル図法**

- 2地点を結ぶ最短距離(大圏コース)は曲線で表される。直線は等角コースとなる。
- 緯度60度で、赤道に対して距離は2倍、面積は4倍に拡大される。

▲メルカトル図法

**大圏コース(経線)と等角コース(経線)**

大圏コースとは、地球上の2つの地点の間の最短距離となるコースのこと。等角コースとは、地球上の1地点と他の1地点とを結ぶ際に、経線に対して一定の角度で交わるコースのこと。

## 4 空中写真と衛星画像

**空中写真**

航空機から地表面を撮った写真(空中写真)は、地形図や土地利用図作成の重要な資料となり、国土開発・環境保全・防災計画などに活用されている。

**衛星画像**

人工衛星からの観測データを画像化したもので、気象観測・資源探査・地球環境の監視などに活用されている。

## 5 地理情報

地図には、地形図のような土地の高低や土地利用などの情報が得られる一般図と、気候や人口分布などの統計地図のような主題図がある。

また、人工衛星から出される電波をもとに位置を知る全地球測位システム(GPS)や、地理情報を収集・整理・分析・表示する地理情報システム(GIS)の作成もすすめられている。

**地形図**

地形図とは、道路・鉄道など、土地の様子を実際の距離を縮めて表した地図のことで、2万5千分の1、5万分の1、20万分の1などがある。

5万分の1の地形図の場合、1kmは地図上では2cmになる。

# 1 経済体制

## ① 資本主義経済

### ① 経済とは何か

経済とは、生活に必要な物である**財**（生産物）や、人々の欲求を満足させる**サービス**（医療・教育・保険・運輸など）を生産し、それらを交換・流通・分配・消費する動きのことである。

### ② 資本主義経済の成立

18世紀後半のイギリスの**産業革命**（○p. 80）をきっかけに**資本主義経済**が成立し、イギリスやフランスの近代市民革命（○p. 76・78）によって、19世紀初めにヨーロッパやアメリカを中心に広がった。

### ③ 資本主義経済の特徴

資本主義経済とは、**資本家が生産手段**（工場・土地・機械・資本）を所有し、労働者が**労働力**を提供して**利潤**（利益）を追求する経済体制のことである。

#### 資本主義経済の特徴

- ① 生産手段の**私有**…生産手段を個人が所有する。
- ② **自由競争**…経済活動は自由に行われ、政府の介入を受けない。
- ③ **市場経済**…生産された商品・サービスは、すべて市場で売買される。
- ④ **利潤追求**…経済活動は、利潤の追求のために行う。

### ④ 資本主義経済の問題点

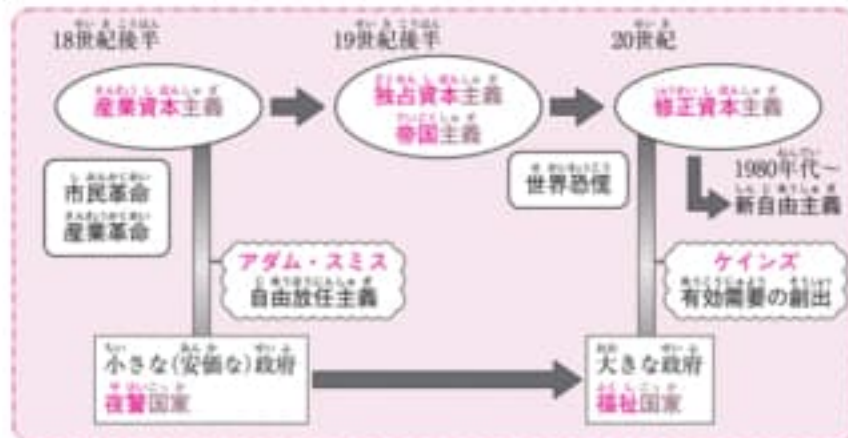
資本主義経済では、資本家と労働者の対立や、自由競争に敗れた企業の倒産とそれともなう失業問題が見られるようになった。また、**好況**（好景気）⇒**景気**⇒**不況**（不景気）⇒**恐慌**という**景気変動**（景気循環）がおこるようになった（○p. 136）。

さらに自由競争に勝った企業が市場と富を独占する**資本の蓄積**・集中がすすみ、**独占市場**が形成されるようになった（○p. 134）。

### ⑤ 資本主義経済の発展

資本主義経済は、18世紀後半～19世紀半ばにおこった**市民革命**・**産業革命**を背景に成立した**産業資本主義**、19世紀後半の**独占資本主義**、20世紀の世界恐慌後の**修正資本主義**（**混合経済**）という段階を経て発達していった。

18世紀後半～ <b>産業資本主義</b> (後進国家)	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場を所有する<b>産業資本家</b>が中心</li> <li><b>自由競争</b>・自由貿易が行われる。⇒<b>小さな政府</b>（<b>安価な政府</b>）</li> <li><b>アダム・スミス</b>が自由放任主義（<b>レッセフェール</b>）を主張する。</li> </ul> <p>(○p. 125)</p>
19世紀後半～ <b>独占資本主義</b> (帝国主義国家)	<ul style="list-style-type: none"> <li>資本の蓄積と集中がすすみ、<b>独占市場</b>が形成される。</li> <li>国家と結びついて海外へ<b>進出</b>する。⇒<b>帝国主義</b> (○p. 94)</li> </ul>
20世紀～ <b>修正資本主義</b> (福祉国家)	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>世界恐慌</b>（1929年）による深刻な<b>経済危機</b> (○p. 105)</li> <li>国家が市場に介入して景気の調整などをはかる。⇒<b>大きな政府</b></li> <li><b>ケインズ</b>が財政支出による<b>有効需要</b>の創出を主張する (○p. 125)。 ⇒<b>アメリカのニューディール政策</b> (○p. 105) …<b>ケインズ理論</b>の採用</li> </ul>
1980年代～ <b>新自由主義</b> (新保守主義国家)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1次<b>石油危機</b>（1973年）による先進国の<b>財政悪化</b> ⇒<b>反ケインズ主義</b>（<b>フリードマン</b>）(○p. 125)</li> <li>経済の自由化などをすすめる（<b>小さな政府</b>）。 ⇒<b>アメリカのレーガノミクス</b>、<b>イギリスのサッチャリズム</b>、 <b>日本の中曽根内閣の行政・財政改革</b> (○p. 100)</li> </ul>



# 1 国際連合と国際機構

## ① 国際社会の成立と国際法

### 国際社会の成立

国際社会とは、**主権国家**（他国の支配・干渉を受けない独立した国家）から構成される社会のことである。ドイツを中心として起こった**三十年戦争**（1618～48年）の講和条約である**ウェストファリア条約**（1648年）によって、ヨーロッパにおける主権国家体制が確立した。

### 国際法

国際社会が成立すると、国家間にルールが必要になった。それは**国際法**とよばれ、オランダの政治学者**グロティウス**（1583～1645年）が『戦争と平和の法』の中で、その必要性を主張した。このためグロティウスは、**国際法の父**とよばれている。

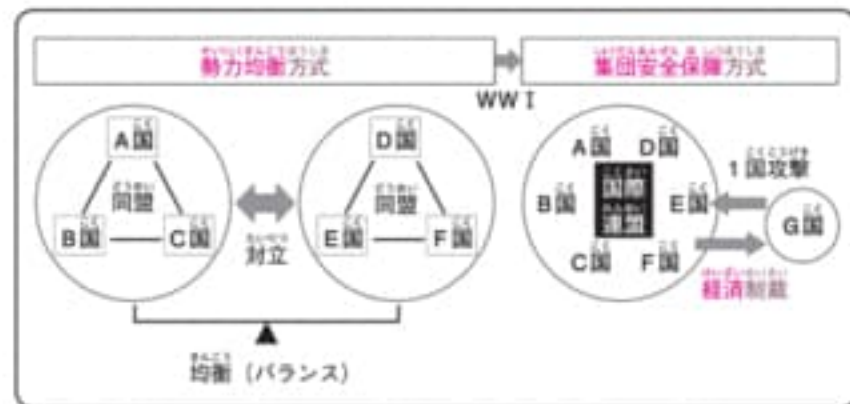
19世紀の産業革命（> p. 80）による国際貿易の発展を背景に、多数の国際条約が結ばれ、国際法は次第に整備されていった。

## ② 国際連盟

### 安全保障

19世紀の帝国主義の時代には、戦争は違法ではなく、国家として当然の権利であるとされていた。そのため、自国の安全を守るためには、他国と軍事同盟を結んで、敵国と軍事力の均衡（バランス）を保つ方法がとられた。これを**勢力均衡**（バランス・オブ・パワー）方式という。

勢力均衡方式は、第一次世界大戦前の**三国協商**（イギリス・フランス・ロシア）と**三国同盟**（ドイツ・オーストリア・イタリア）に代表される（> p. 99）。しかし、勢力の均衡が崩れたことが第一次世界大戦の要因になったため、第一次世界大戦後、新たに**集団安全保障**方式が採用された。これは、世界中のすべての国を一つの国際組織に加盟させ、違法な戦争をした国に対しては、集団で経済制裁を加えることで戦争を防ぐという方法である。その後、第二次世界大戦の終わりに採択された国際連合憲章では、**個別的・集団的自衛権**は国家の固有の権利として認められている（> p. 197）。



### 国際連盟

第一次世界大戦の反省から、集団安全保障の考えをもとにつくられたのが**国際連盟**（1920年）である。アメリカ大統領**ウィルソン**は、第一次世界大戦終り頃の1918年に**平和原則14ヵ条**を発表し、その中で、国際平和機構の設立を提案した。

その後、第一次世界大戦の講和条約である**ヴェルサイユ条約**（1919年）によって設立が決まり、1920年に国際連盟が設立された（> p. 100）。当初の加盟国は42ヵ国で、本部はスイスの**ジュネーブ**におかれた。しかし、国際連盟にはいくつかの大きな欠点があり、力が弱かったために、第二次世界大戦を防ぐことができなかった。

### 国際連盟の欠点

- ① 総会・理事会でのすべての加盟国による**全会一致制**。  
…一国でも反対があれば何も決められない。
- ② 違法な戦争をした国に対する制裁は**経済制裁のみ**で、**軍事制裁**はできない。
- ③ **アメリカが不参加**  
…設立当初、ソ連・ドイツは未加盟。その後、**日本・ドイツ・イタリア**が脱退。

## ③ 国際連合と国際機構

### 設立の過程と目的

第二次世界大戦中の1941年、アメリカのF. ローズヴェルト大統領とイギリスのチャーチル首相が**大西洋憲章**を発表し、国際連盟の反省から新しい平和機構の設立を提案した。



▲国際連合旗

その後、1945年6月のサンフランシスコ会議で**国際連合憲章**が採択され、国際連合(国連)が設立された。当初の加盟国は51か国で、本部は**ニューヨーク**におかれた(2017年3月現在の加盟国は193か国、最も新しい加盟国は**南スーダン**)。

国際連合の目的は、①**国際社会の平和と安全の維持**、②**各国の友好関係の促進**、③**経済的・社会的・文化的・人道的な国際協力の達成**、④**国連が国際活動の中心となること(国連中心主義)**である。

### 国際連合の組織

国際連合の主な組織としては、①**総会**、②**安全保障理事会**(安保理)、③**経済社会理事会**、④**信託統治理事会**、⑤**国際司法裁判所**、⑥**事務局**の6つがある。

<b>総会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成…すべての加盟国で構成される<b>最高機関</b></li> <li>任務と権限…国際平和と安全に関する問題の話し合いなど</li> <li>表決…一国一票の投票権をもち、<b>多数決</b>を採用。 重要事項は<b>3分の2</b>以上、一般事項は<b>過半数</b>の賛成が必要</li> </ul>				
<b>安全保障理事会</b> (安保理)	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成…5つの常任理事国と10の非常任理事国の15か国</li> </ul> <table border="1"> <tr> <th>常任理事国(5か国)</th> <th>非常任理事国(10か国)</th> </tr> <tr> <td>アメリカ・イギリス・フランス・ロシア・中国</td> <td>アジア2、アフリカ3、中東米2、ヨーロッパなど3 …任期<b>2年</b>、毎年5か国改選</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>任務と権限…戦争を防止し、国際平和を維持する。 ⇒違反国に対する<b>軍事制裁</b>ができる。</li> <li>表決…各理事国は一票の投票権をもち、重要事項は常任理事国すべての賛成が必要(<b>大国一致の原則</b>)。常任理事国は<b>拒否権</b>をもち、</li> </ul>	常任理事国(5か国)	非常任理事国(10か国)	アメリカ・イギリス・フランス・ロシア・中国	アジア2、アフリカ3、中東米2、ヨーロッパなど3 …任期 <b>2年</b> 、毎年5か国改選
常任理事国(5か国)	非常任理事国(10か国)				
アメリカ・イギリス・フランス・ロシア・中国	アジア2、アフリカ3、中東米2、ヨーロッパなど3 …任期 <b>2年</b> 、毎年5か国改選				
<b>国際司法裁判所</b> (ICJ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国家間の紛争を裁く常設裁判所。裁判を聞くには、紛争当事国(紛争を行っている国)両方の合意が必要⇒<b>法的拘束力</b>あり。</li> <li>判事は総会と安保理の投票で選ばれた15名で構成される。</li> </ul>				
<b>事務局</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成…<b>事務総長</b>と専門・一般職の職員</li> <li>任務と権限…国際連合運営に関するすべての事務を担当</li> </ul>				

### 国際刑事裁判所(ICC)

戦争犯罪などの重大犯罪を行った個人を裁く場合には常設裁判所として**国際刑事裁判所(ICC)**がある。2002年にオランダの**ハーグ**に設立された。

### 主な国際連合の機関

国際連合には、総会によって設立された常設機関、国連と連携している専門機関、国連と密接な関係にある関連機関などがある。

<b>国連児童基金</b> (UNICEF)	発展途上国の子供の生活・保健衛生・教育の向上をはかる。
<b>国連開発計画</b> (UNDP)	世界の開発とそれに対する援助を行う。 …1994年の報告書で「 <b>人間の安全保障</b> 」が初めて公に取り上げられ、個々の人間を恐怖と欠乏の脅威から守ることが示された。
<b>国連難民高等弁務官事務所</b> (UNHCR)	難民の国際的保護や第三国への定住などを手助けする。 (▷ p. 233)
<b>国連貿易開発会議</b> (UNCTAD)	発展途上国の経済開発と、南北間の経済格差をなくすことをめざす。(▷ p. 231)
<b>国際労働機関</b> (ILO)	労働者の労働条件と生活条件の改善をはかる。 … <b>ヴェルサイユ条約</b> (1919年)(▷ p. 100)によって設立
<b>国連食糧農業機関</b> (FAO)	国民の栄養水準・生活水準の向上をめざす。
<b>国連教育科学文化機関</b> (UNESCO)	教育・科学・文化の研究と普及を行う。 … <b>世界遺産</b> の登録と保護
<b>世界保健機関</b> (WHO)	伝染病をなくすための活動、災害への援助や人口問題などに取り組む。
<b>国際復興開発銀行</b> (IBRD)	発展途上国の工業・農業開発などへの融資を行う。 <b>世界銀行</b> ともいう。(▷ p. 136-174)
<b>国際通貨基金</b> (IMF)	通貨に関する国際協力と国際貿易の拡大・均衡をはかる。 (▷ p. 136-174)
<b>国際原子力機関</b> (IAEA)	原子力の平和利用をすすめる、軍事目的への使用を防ぐことを目的とする。
<b>世界貿易機関</b> (WTO)	世界貿易の自由化をめざす。 … <b>GATT</b> から発展(▷ p. 174)